

| | |
|-------------|--|
| 氏名 (生年月日) | さか もと だい すけ 坂 本 大 輔 (昭和 58 年 10 月 16 日) |
| 本 籍 | 山 梨 県 |
| 学 位 の 種 類 | 博 士 (医 学) |
| 学 位 記 番 号 | 甲 第 4 6 6 号 |
| 学位授与の日付 | 平成 2 7 年 9 月 3 0 日 |
| 学位授与の要件 | 学位規則第 4 条第 1 項該当 |
| 学 位 論 文 題 目 | Validation of circulating BNP level>1000pg/ml in all-cause mortality: A retrospective study (BNP>1000pg/ml の患者における予後の検証) |
| 論 文 審 査 委 員 | 主 査 梶 波 康 二 副 査 岩 井 邦 充 中 村 常 之 |

論文審査結果の要旨

本研究は、診療現場で広く使用されている心不全バイオマーカーである BNP について、その極端な高値の持つ臨床的意義について検討したものである。診療の場で記録される臨床データとの比較検討のみならず、症例の生命予後を調査し、その予測因子としての有用性を検討している。母集団は 4000 例を超えており、その結果>1000 pg/ml の症例を 100 例以上集積することが可能となったことは、申請者が自ら検証している後ろ向き研究の持つ限界を差し引いても、十分価値の高い研究と言えよう。

心不全が明らかではない BNP>1000 pg/ml 症例が予後不良であるメカニズムの詳細は推測の域を出ないものの、大きな臨床的意義が期待される次の研究課題を提示できたことも含め、汎用される臨床指標を対象として新しい観点からアプローチしたユニークな研究として評価される。

以上により、本論文は博士(医学)の学位を授与するに値するものと認められる。

(主論文公表誌)

Journal of INTERNATIONAL MEDICAL RESEARCH Vol.43, No.4, 583-591, 2015